

含め一定の割合でいらっしやり、これらは新型コロナウイルスの後遺症だといわれます。

市長 原因は分かっているのでしょうか？

忽那 病態はまだよく分かっていませんが、回復前の、症状が一番強い時に体のいろいろなところで起きた障害や炎症、ごく少量のウイルスが残っている可能性が指摘されています。徐々に研究が進んでいるところです。

市長 回復後のケアの大切さを感じましたので、ぜひデータ収集と分類が進みましたら「この場合はこういうケアをする」といった対応を案内していただけると助かります。適切なケアを施し、誰もが安心して日常生活に戻る環境を整えたいものです。

思いやりの心で温かく接する

市長 現状、流行したり落ち着いたりを繰り返している新型コロナウイルスですが、そうした中で、市民のみなさんはどういうことに気を付けなければならないのでしょうか？

忽那 まず大切なのは感染症に対する正しい知識を持つことです。感染症がこれほどまでに社



会へ影響を与える時代ですから、正しい知識を持ったうえで、正しい感染対策とワクチン接種を行っていただきたいですね。

市長 とても重要ですね。多久市でも昨秋『新型コロナウイルスワクチン接種ルールブック』を作成し、市民のみなさんへワクチン接種の基本的周知を図りました。

また、流行初期は特に、感染自体を気にする雰囲気もありましたので、多久市内で1人目の感染者が出た際には私がマイクを取り、市内全域に放送をしました。

忽那 どのような放送だったのですか？

市長 『誰でもかかる可能性のある病気です、誹謗中傷は決してしないでください、お互いに「仁の心」「恕の心」を大切にしましょう』といった話をしました。その後感染者のご家族から「あの放送を聞いて安心した」とご連絡があり、印象深くに残っています。その時からさらに、寄り添うような温かいケアが重要だと感じましたね。

忽那 本当に素晴らしいご配慮です。特に流行初期は感染者が差別的に扱われるようなこともあり、それは医療従事者間でも同様でした。差別や偏見は、新型コロナウイルスにかかわらず、どの感染症にもついて回る大きな問題ですから。

市長 未知のウイルスに対し、漠然とした不安があり、そうした反応をされるのかもしれない。だからこそ慈しみの心で接することが大切ですよ。

動画もチェック!

ワクチン接種の動画2本をYouTubeで公開中です。ぜひご覧ください♪



そうだったんだ!
ワクチン接種



新型コロナワクチン
接種のお願い



会いたい人に会える日々へ

忽那 今年はコロナ禍の4年目ですから、みなさん新型コロナウイルスとの生活に慣れてきた頃でしょう。だからこそ、感染対策は今までもメリハリを付けて考えていく時期だと思えます。例えば、マスクは感染対策として効果的なので全てやめるのではなく、状況を見て着けるといいでしょう。

市長 息苦しさや顔の見えないもどかしさを感じる生活が長引いていたので、それは嬉しいことです。マスクを外してもいい場合とは、例えばどのような時ですか？

忽那 近くの人と1メートルほどの距離があれば外でマスクを着ける必要はありません。換気されている部屋であれば、黙ってパソコンに向